

平成21年度
さいたまカーフリー^{デー}2009
横浜カーフリー^{デー}2009
事業報告書



KEIRIN 00

この事業は競輪の補助金を受けて
実施したものです。

<http://ringring-keirin.jp>

さいたまカーフリーデー 2009

【開催概要】

開催趣旨： 近距離交通手段としての自転車の優位性を積極的にPRするとともに、
乗用時にCO₂を排出しない、環境にやさしい移動手段としての自転車の活用を促進するため、
カーフリーデーへの出展を行う。

名 称： 自転車やバス・電車で街に出かけよう！街がいつもと違って見えるかも。
さいたまカーフリーデー 2009

主 催： さいたまカーフリーデー実行委員会

実施場所及び日時：

場所 埼玉県さいたま市（大宮駅西口鐘塚公園及び周辺道路 / JR大宮駅周辺）
日程 平成21年9月19日（土）
時間 10:00～16:00

実施内容：

- 展示テントエリア
 - 自転車利用啓発パネル展示
 - DVD映像を上映
 - 来場者参加型のゲーム大会
 - ・自転車クイズ
 - ・ゴールドスプリント
 - 来場者意識調査（アンケート）
 - 小泉ニロの自転車展示
- ステージエリア
 - 小泉ニロライブステージ
- オープンカフェエリア
 - 「小・中学生絵画・作文コンクール」入賞作品展示



参加者数：

- ・ゴールドスプリント：66人
- ・アンケート 203人





開催会場入口



オープンカフェエリア（歩行者天国）



小泉ニロの自転車展示



秋元実行委員長開会あいさつ



さいたま市 清水市長来賓あいさつ



自転車利用啓発パネルの展示



絵画コンクール入賞作品の展示
(オープンカフェエリア)



作文コンクール入賞作品の展示
(オープンカフェエリア)



(財) 日本自転車普及協会の展示ブース



小泉ニロのステージ



アンケートに答える来場者



自転車クイズの実施



ゴールドスプリントに参加する清水市長



ゴールドスプリントの様子



(財) 日本自転車普及協会 DVD の上映



横浜カーフリーデー 2009

【開催概要】

開催趣旨： 近距離交通手段としての自転車の優位性を積極的に PR するとともに、
乗用時に CO₂ を排出しない、環境にやさしい移動手段としての自転車の活用を促進するため、
カーフリーデーへの出展を行う。

名 称： 横浜カーフリーデー 2009& モビリティウォーク

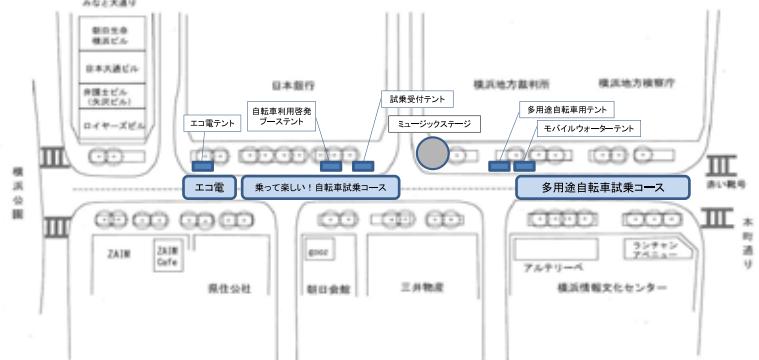
主 催： 横浜カーフリーデー実行委員会

実施場所及び日時：

場所 神奈川県横浜市（日本大通り及び横浜公園）
日程 平成 21 年 9 月 22 日（火・休日）
時間 11:00～16:00

実施内容：

- 自転車利用啓発パネル展示コーナー
 - パネル展示
 - 来場者意識調査（アンケート）
 - 人力発電遊具「エコ電」体験コーナー
 - 「エコ電」の試乗体験
 - ハンドサイクル・多用途自転車 体験試乗会
 - 【体験自転車】
 - スポートイ優U（〈日本〉マツダ自転車工場製）
 - ラクラックーン・ミニ（〈日本〉堀田製作所製）
 - 車イス付自転車（〈ドイツ〉ロバートホーニング社製）
 - ハンドサイクル（〈日本〉オーエックスエンジニアリング社製）
 - ハンドサイクルアダプター式（〈ドイツ〉シュトリッカー社製）
 - ブリッツ〈BULLITT〉（〈デンマーク〉LARRY VS HARRY社製）
 - クリスチャニアバイク〈Christianiabikes〉（〈デンマーク〉Christianiabikes社製）
 - ニホラ〈nihola〉（〈デンマーク〉nihola社製）
 - 乗って楽しい自転車試乗会
 - 日本サイクルスポーツセンターのおもしろ自転車の試乗体験
 - モバイルウォーターボトル体験コーナー
 - 自転車搭載型緊急時浄水システム（モバイルウォーター）の体験
 - モバイルウォーター紹介DVDの上映



参加者数：

- ・ 人力発電遊具「エコ電」体験コーナー 126 人
 - ・ ハンドサイクル・多用途自転車 体験試乗会 146 人
 - ・ 乗って楽しい自転車試乗会 337 人
 - ・ モバイルウォーターボンボン体験コーナー 125 人
 - ・ アンケート 201 人





自転車利用啓発パネルの展示



(財) 日本自転車普及協会の展示ブース



アンケートに答える来場者



「エコ電」を体験する来場者



「エコ電」を体験する来場者



カーフリーデーパレード



乗って楽しい自転車試乗会



乗って楽しい自転車試乗会



ステージエリアでのパフォーマンス



モバイルウォーターの体験



モバイルウォーターの体験



カーフリーデー本部テント



多用途自転車の体験試乗



ハンドサイクルの体験試乗



ハンドサイクル・多用途自転車の試乗車



さいたま・横浜 共通展示物

自転車利用啓発パネル 7 種 (A1)

Figure 1: CO₂ reduction rate by bicycle type

Bicycle Type	CO ₂ Reduction Rate (%)
Electric bicycle	100
Mountain bike	80
City bike	70
Standard bicycle	60

Figure 2: CO₂ reduction rate by bicycle use

Category	CO ₂ Reduction Rate (%)
1 person	100
2 people	80
3 people	70
4 people	60

Table: CO₂ reduction potential of bicycle use

Bicycle Type	CO ₂ Reduction Rate (%)	CO ₂ Reduction Potential (kg)
Electric bicycle	100	1770
Mountain bike	80	1416
City bike	70	1233
Standard bicycle	60	1034

Comparison with plastic bottle use:

- 1 person: 1 km ≈ 1770 kg CO₂ reduction by bicycle vs. 1770 kg CO₂ reduction by 44 plastic bottles
- 2 people: 1 km ≈ 1416 kg CO₂ reduction by bicycle vs. 1416 kg CO₂ reduction by 35 plastic bottles
- 3 people: 1 km ≈ 1233 kg CO₂ reduction by bicycle vs. 1233 kg CO₂ reduction by 28 plastic bottles
- 4 people: 1 km ≈ 1034 kg CO₂ reduction by bicycle vs. 1034 kg CO₂ reduction by 22 plastic bottles

CO₂ reduction potential of bicycle use is equivalent to that of plastic bottle use.

自転車は正しいルールを守りましょう	
①自転車は、歩道が原則、歩道は例外	②歩道は歩行者通行
	
③歩道は歩行者優先で、車道走りを禁行	
	
④安全ルールを守る	
	
	
	
⑤子どもはヘルメットを着用	⑥運転中の飲酒は禁
	



小泉二口紹介パネル (A1)

A large, stylized orange title 'NILO KOIZUMI' is at the top. Below it is a portrait of a smiling woman with long brown hair, wearing a white patterned top. The background is a warm, yellowish gradient.

自転車用キャプション (A3)

ハンドサイクル・多用途自転車 説明パネル (B0)

ハンドサイクル・多用途自転車 体験試乗会	
ハンドサイクル バンチドライバ 価格：オーバーハンドエンジンアシスト自転車  	ハンドサイクル（アシスト） ダイブ・ロードトリートルーム  
スポーツサイクル（自走式） 価格：アシスト自転車専用 	車イス付対応自転車 ダイブ・ロードトリートルーム 
タクランツーン・エリ 価格：電動自転車 	ブリッジ（BRILLIANT） ダイブ・ロードトリートルーム 
クリスチャニア自転車（Christianshobike） ダイブ・ロードトリートルーム 	ニカラ（nikola） ダイブ・ロードトリートルーム 

自転車説明パネル (A2)

自転車説明パネル (A2)

自転車説明パネル (A2)



自転車説明パネル (A2)

記念品・配布物

記念品：反射板シール

【サイズ：70mm × 57mm】



《記念品反射板シールの配布について》

【さいたま会場での配布】

- ・ゴールドスプリント参加者
 - ・クイズ回答者
 - ・アンケート記入者

【横浜会場での配布】

- ・試乗会参加者
 - ・アンケート記入者

配布物：A4 チラシ3種

バイコロジーティッシュ



自転車利用についてのアンケート調査

(財)日本自転車普及協会
2009年9月19日実施

問1. 性別 ア.男 イ.女

問3. 所属 ア.小学生 エ.専門学校生
イ.中学生 オ.大学・大学院生
ウ.高校生

カ.フリーター
キ.パート・アルバイト
ク.会社員

ケ.自営
コ.専業主婦
サ.無職

問4. お住いは ア.大宮区内 イ.大宮区外埼玉県内 (市・区・郡・町) ウ.埼玉県外 ()

問5. カーフリーデーはご存じでしたか?

ア.はい イ.いいえ

問6. CO2削減について普段から意識されていることは

ア.ある (具体的に)

イ.特になく

今回カーフリーデーに参加されて
このイベントの印象をお聞かせ下さい

問7. 自転車はCO2を排出しないことをご存じでしたか?

ア.はい イ.いいえ

問8. 自転車はお持ちですか?

ア.はい イ.いいえ

問9. 本日のイベントに参加して自転車を活用しようと思いましたか?

ア.はい イ.いいえ

◎自転車をお持ちの方にお伺いします

問10. 自転車は、どこで購入されましたか?

ア.家の近くの自転車専門店

イ.大規模ショッピングセンター内の自転車店

ウ.ディスカウントストアー

エ.通信販売

オ.その他 ()

問11. 自転車の利用方法は

ア.通勤・通学

イ.買い物

ウ.レジャー

エ.トレーニング

オ.あまり利用しない

問12. 通勤・通学の手段は?

ア.自動車 (約 分)

イ.自動車と公共交通機関 (バス・電車・その他)

ウ.自転車と公共交通機関 (バス・電車・その他)

エ.自転車 (約 分)

オ.徒歩と公共交通機関 (バス・電車・その他)

カ.徒歩 (約 分)

キ.その他

◎自転車をお持ちでない方へ

問15. 何故自転車をお持ちでないのか理由は?

ア.自転車に乗れないから

イ.自転車走行は危険だから

※危険と感じる場面をお教え下さい

ウ.自転車を止める場所がないから

エ.自転車を盗まれたから (場所)

オ.その他

問16. 今後自転車の購入予定はありますか?

ア.ある イ.ない

問17. 今回の(財)日本自転車普及協会の出展内容について
ご意見をお聞かせ下さい

a)パネル展示について

ア.ためになった

イ.すでに知っている事だった

ウ.その他 ()

b)クイズについて

ア.ためになった

イ.おもしろかった

ウ.その他 ()

c)ゲームについて

ア.楽しかった

イ.楽しめなかった

ウ.その他 ()

d)小泉ニロさんトーク&ライブについて

ア.コンサートが楽しかった

イ.自転車トークが楽しかった

ウ.その他 ()

問13. 普段自転車で走る所は

ア.歩道を走行しています

イ.車道を走行するようにしています

問14. 自転車は車両の仲間、原則車道通行について

ご存じでしたか?

ア.知っていた

イ.今日初めて知った

ウ.知らない

問18. 今回のカーフリーデー(財)日本自転車普及協会ブースについてご意見をご感想をお聞かせ下さい

本日はご協力ありがとうございました。



■回収枚数：203枚

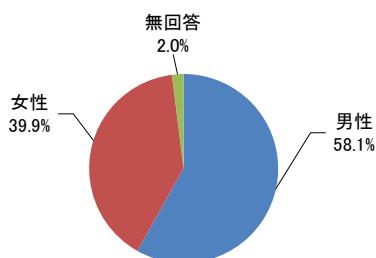
【デモグラフィック特性】

- ・男性が女性と比べて多く、6割弱を占めている。
- ・年齢としては、30代～50代で過半数を占めている。
- ・女性の年齢では、30代が一番多く、3割弱を占めている。

- ・会社員が46.2%と半数弱を占め、専業主婦は14.1%である。
- ・大宮区在住が45.1%と半数弱で、埼玉県内では約9割を占めている。

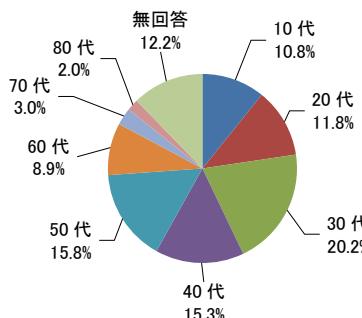
問①

男女構成



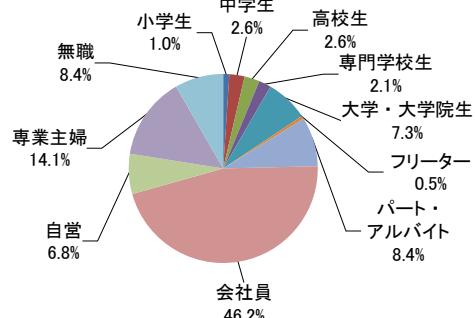
問②

年齢構成



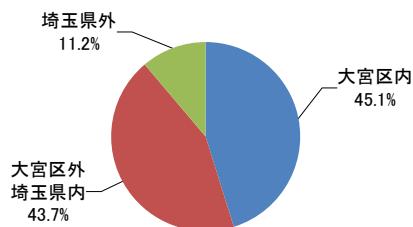
問③

所属



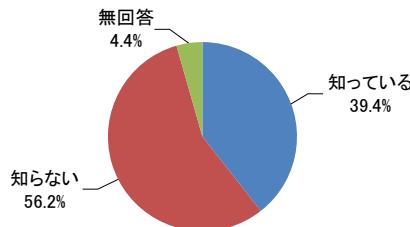
問④

お住まいは？



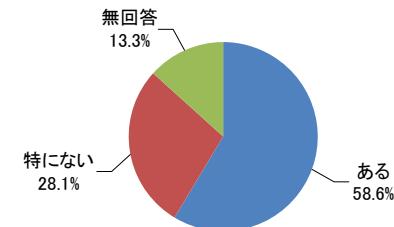
問⑤

カーフリー デーへの認知度



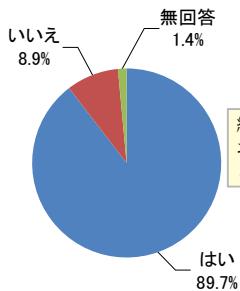
全体の約4割がすでに
知っている、認知度はか
なり高いと言える。

問⑥

CO₂削減への意識

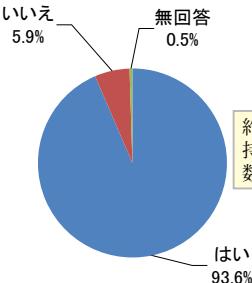
意識している方が6割近
くを占め、かなり高い数
値を示している。

問⑦ 自転車はCO₂を排出しない
ことを存じでしたか？



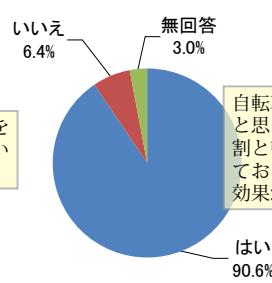
約9割の方が知って
おり、認知度は高
いと言える。

問⑧ 自転車はお持ちですか？



約9割強の方が自転車を
持っております、非常に高
い数値を示している。

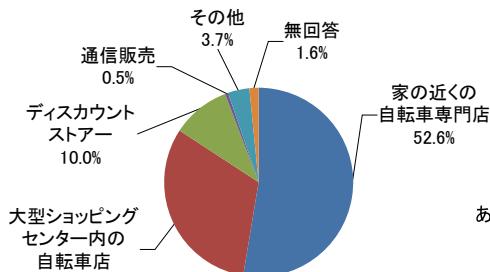
問⑨ イベントに参加して自転車を
活用しようと思いましたか？



自転車を活用していこう
と思っている人が、約9
割という高い数値を示し
ており、このイベントの
効果があったと言える。

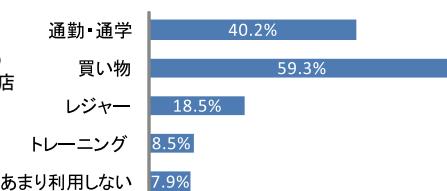
□自転車を持っている方

問⑩ 自転車をどこで購入？



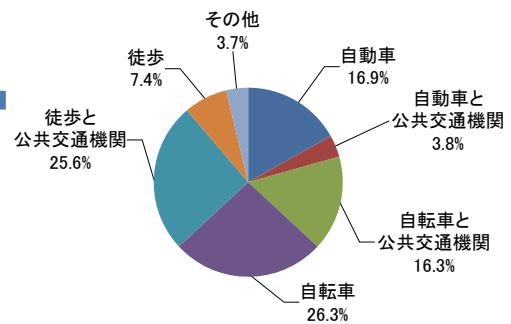
5割強が「家の近くの自転車
専門店」で購入し、「大規模
ショッピングセンター内の自
転車店」を含めると84.2%
を占めている。

問⑪ 自転車の利用方法は？
(複数回答)



買い物利用が、利用者の
約6割を占めている。
通勤・通学での利用も高
く見受けられる。

問⑫ 通勤・通学の手段は？



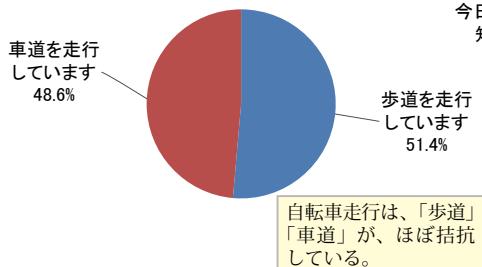
「自転車」だけの利用が26.3%も
いる一方で、「自動車」だけでの
通勤が16.9%とまだかなり高い。



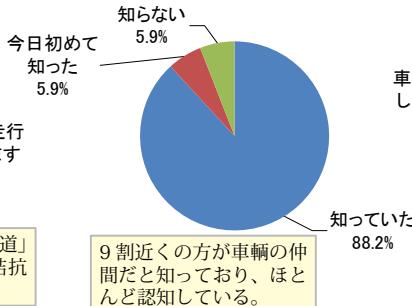
さいたまアンケート集計・分析

□自転車を持っている方

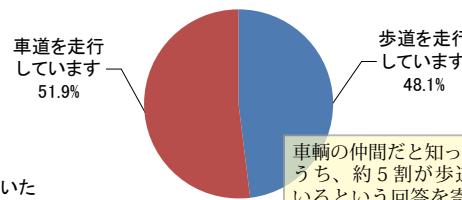
問⑬ 普段自転車で走る所は？



問⑭ 自転車は車輪の仲間だと



《車輪の仲間だと知っている人のうち》



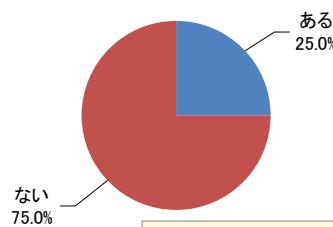
□自転車を持っていない方

問⑮ 何故自転車をお持ちでないのか（複数回答）



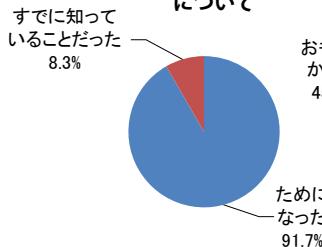
「自転車を盗まれたから」の項目のうち、買い物時と書いている人が多く見受けられる。
「その他」の項目では、必要性を感じないとコメントが多い。

問⑯ 今後自転車の購入予定は？



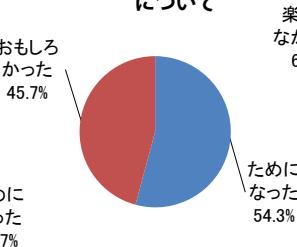
問⑰ 今回の（財）日本自転車普及協会の出展内容についてのご意見

a) パネル展示について



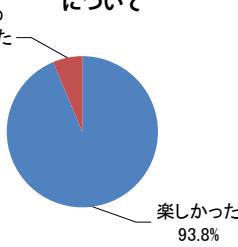
約9割の方が「ためになった」と回答している。パネルでの訴求に効果が大いにあったと言える。一方、すでに知っていると回答した人が8.3%もいて、かなりの意識の高さが伺える。

b) クイズについて



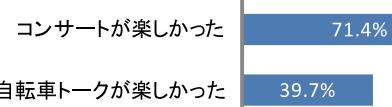
「ためになった」は過半数を占めている。また、回答の半数以上が「その他・無回答」で、時間帯によって参加できなかつたと思われる。

c) ゲームについて



「楽しかった」は93.8%を占め、時間制のため6.2%の方が参加できなかつたと答えている。また、回答者の半数以上が「その他・無回答」であり、時間帯によって参加できなかつたと思われる。

d) 小泉二口 トーク＆ライブについて（複数回答）



「コンサートが楽しかった」は7割を超える高い数値を示している。一方、「自転車トークが楽しかった」も4割近い人が答えている。ただ2回公演ということもあり、回答者のうち半数以上が「その他・無回答」であり、見ていないと思われる。

【コメント集】

問⑮ 今回カーフリーデーに参加されてこのイベントの印象をお聞かせ下さい。

- 59人（回答者のうち29.1%）の方に印象のコメントを書いていただきました。
- 好印象がほとんどで、環境を考えるきっかけ作りになった意見が多く見られる。

（抜粋）

- 1 知らなかったことを知れたりと、とても勉強になりました。
- 2 おもしろい。せっかくやっているのに集客が少ない。大宮に来て初めてこのイベントを知ったので、もっとPRすればいっぱい人も来るのに。
- 3 環境に気をついていることがすごい。ちょっとピックリ。
- 4 もっと自転車の展示を増やして欲しい。エコキャンペーンなら自転車主体でやっていくべきだと思う。
- 5 年に数回開催できたら良いと思う。
- 6 自転車の点検が気になりました。また参加したいです。
- 7 自転車を見直した。おもしろくて良かった。
- 8 実物のエコカー展示は良いと思う。
- 9 細かいところの配慮がよい。
- 10 環境・人に良いことである。健康にも良い。
- 11 小規模の感じながらおもしろそう、楽しそう。
- 12 自転車関係の催しがあって楽しかった。
- 13 車のない生活もたまには良いかも。
- 14 楽しそうだった。エコについて考えさせられた。
- 15 クイズとかがあって工夫している。
- 16 楽しかったです。CO₂削減によりつとめていきたいです。
- 17 みんなが環境に興味を持てるすばらしいイベントです。
- 18 様々なブースがあっておもしろい。
- 19 地元の活性化。楽しみながらいろんなことを知るきっかけになって良い。
- 20 フランスでたまたまこの祭りに出会って知っていた。もっと取り組み自体が広がると良いと思っている。
- 21 良いと思います。もっとみんなでそういう日を作ればいいと思います。
- 22 一人一人の意識を変えていくしかないと思うので大切だと思います。「人は忘れる生き物」なので毎年イベントを行って、忘れないのが大事。
- 23 ゴールドスプリントみたいにもっと参加できるイベントが多いといいな。



問⑥ CO₂削減について普段から意識されていることは

- ・「ある」と答えた119人のうち95人(約8割)の方にコメントを書いていただき、意識の高さを表している。
- ・日頃から意識されている人の中で、節電・自動車・ゴミ分別・エコバック等への項目が多数見受けられる。

〈水道・光熱及び車に関するコメント〉(抜粋)

- 1 消灯の実施。
- 2 電気使用量を削減。
- 3 空調を少なくし、車は使わず自転車か歩き。
- 4 エアコンの温度設定。
- 5 冷房をしない。
- 6 生活の中で特にライフライン(水・電気・火など)の使い方と車の使い方。
- 7 車を急加速しない。
- 8 なるべく車を使わない。
- 9 エコドライブを心がけています。
- 10 アイドリングストップ。
- 11 ハイブリット車に乗り換える。
- 12 自動車に乗らない日を決めている。

〈自転車活用及び公共交通機関利用に関するコメント〉(抜粋)

- 1 省エネ。自転車使用。
- 2 自転車で移動。
- 3 自転車通勤。
- 4 なるべく自転車に乗る。
- 5 車に乗らないで自転車を使う。
- 6 基本的に自転車か歩く。車を所有していないので電車かバス。
- 7 公共交通機関の利用。歩く。

〈その他のコメント〉(抜粋)

- 1 エコバック。
- 2 エコバック。マイ箸。エアコンの温度調整。
- 3 ゴミの分別。
- 4 ゴミを出さない。
- 5 可能な限り歩く。

問⑯(財)日本自転車普及協会ブースについてのご意見

- ・87人(回答者のうち42.9%)の方にご意見をいただき、多数のコメントが寄せられている。
- ・この結果は、来場者に大いに関心を喚起させ、充分にイベント効果があったと考えられる。

(抜粋)

- 1 家族で楽しめるのでうれしく思っていると同時にいろいろ知らなかつたことを知ることが出来て良いと思います。
- 2 けっこう為になることが多かった。案外自転車もいいものだと実感した。
- 3 ロードレースのこととかもやつたらおもいしろいかも。
- 4 自転車の映像などがすごいと思った。
- 5 ゲームは体力があればやってみたい。
- 6 自転車は交通規則が分かりづらいのでためになりました。
- 7 たまには駅前でこういうことをやっても良いと思う。車進入禁止っていうところも良い。
- 8 今後もこのような催事をして下さい。
- 9 小さい子どもが楽しめるイベントがあればより良い。
- 10 自転車走行を徹底し、違反者は取り締まって欲しい。
- 11 パネルの説明がよい。
- 12 もっと目立つようにしても良いです。
- 13 このようなイベントで知ることも多いので、たくさん開催して頂きたいです。
- 14 自転車利用者のマナー向上。ライトの使用と携帯電話使用しながらは危険。
- 15 これから日本のため、しっかりやらねばと痛感した。
- 16 自転車はよく使うのでためになりました。
- 17 今後もこのような活動をぜひ続けてほしいと思いました。
- 18 たまたま通りかかったらイベントをやっていたので見に来たら、勉強になることだったので来て本当に良かった。
- 19 自転車のマナーがかなり悪い。
- 20 また企画できたらやった方が良い。ためになると思う。
- 21 大いに興味をもつことがあった。
- 22 自転車の良さを実感した。
- 23 スタッフの方が一生懸命で良かった。
- 24 知らない人もたくさんいると思うので、これからも続けた方が良いと思います。
- 25 こういう活動を続けていけば、日本の将来は明るくなると思います。是非続けて下さい。
- 26 自転車に乗ってCO₂を削減します。
- 27 実物の自転車が展示してあるのがよい。
- 28 ゴールドスプリントは楽しそうでした。
- 29 展示など分かりやすく良かったと思います。
- 30 こういう取り組みは地球のためにも良いと思った。
- 31 もっと日本全国に普及して欲しい。
- 32 事前PRが必要だったのではないでしょか。
- 33 何となく興味が持てるようになりました。
- 34 環境を考えて生活したいと思います。
- 35 アンケートが細かすぎる。
- 36 非常に勉強になるイベントだと思う。これを機会にCO₂削減を今以上に考えていくと思う。
- 37 車に頼り切った生活を見直す良い機会となりました。
- 38 自転車のマナーがもっと良くなるようお願いします。
- 39 海外に自転車専用道路があることが分かり、ためになった。
- 40 頑張って下さい。
- 41 自転車はすばらしいです。
- 42 自動車よりもっと自転車を使った方が良いと思う。
- 43 環境のためみんな一緒に頑張ります。
- 44 自転車のおもしろさが分かった。
- 45 小泉二口さんのライブが良かったです。
- 46 とても良いきっかけになりました。
- 47 よく自転車には乗りますが、最近無灯火の自転車が多くあぶないので、自動的に電気がつく自転車を主流にしてもらえると安心して乗ることができます。
- 48 車道・歩道など、みんなが心地よい道路にして欲しい。
- 49 歩行者と自転車に乗っている人がいいかげん。無灯火の自転車が多すぎる。罰則を強化して欲しい。
- 50 いつも通勤で使っているので、このようなイベントがあるのは良いことだと思います。
- 51 来年も是非ブースを設けて欲しい。
- 52 もう少し食べ物の出展があつても良かった。出展されている人が暗い。入口で呼び込みをするべき。
- 53 会社は「交通事故の観点から」という理由でマイカーを推奨している。これっておかしいですよね。
- 54 とっても良いことだと思います。一人一人の意識が変われば地球もすばらしい宇宙での役割を果たすことでしょう。努力して参りたいと思いました。
- 55 子どもも楽しめて良いと思いました。



自転車利用についてのアンケート調査

(財)日本自転車普及協会
2009年9月22日実施

問1. 性別 ア.男 イ.女 問2. 年齢 (才)

問3. 所属 ア.小学生 エ.専門学校生 カ.フリーター
イ.中学生 オ.大学・大学院生 キ.パート・アルバイト
ウ.高校生 ク.会社員

ケ.自営
コ.専業主婦
サ.無職

問4. お住いは ア.横浜市内 イ.横浜市外神奈川県内 (市・郡・町) ウ.神奈川県外 ()

問5. カーフリーデーはご存じでしたか?

ア.はい イ.いいえ

問6. CO2削減について普段から意識されていることは

ア.ある (具体的に)

イ.特がない

今回カーフリーデーに参加されて
このイベントの印象をお聞かせ下さい

問7. 自転車はCO2を排出しないことをご存じでしたか?

ア.はい イ.いいえ

問8. 自転車はお持ちですか?

ア.はい イ.いいえ

問9. 本日のイベントに参加して自転車を活用しようと思いましたか?

ア.はい イ.いいえ

◎自転車をお持ちの方にお伺いします

問10. 自転車は、どこで購入されましたか?

ア.家の近くの自転車専門店

イ.大規模ショッピングセンター内の自転車店

ウ.ディスカウントストアー

エ.通信販売

オ.その他 ()

問11. 自転車の利用方法は

ア.通勤・通学

イ.買い物

ウ.レジャー

エ.トレーニング

オ.あまり利用しない

問12. 通勤・通学の手段は?

ア.自動車 (約 分)

イ.自動車と公共交通機関 (バス・電車・その他)

ウ.自転車と公共交通機関 (バス・電車・その他)

エ.自転車 (約 分)

オ.徒歩と公共交通機関 (バス・電車・その他)

カ.徒歩 (約 分)

キ.その他

◎自転車をお持ちでない方へ

問15. 何故自転車をお持ちでないのか理由は?

ア.自転車に乗れないから

イ.自転車走行は危険だから

※危険と感じる場面をお教え下さい

ウ.自転車を止める場所がないから

エ.自転車を盗まれたから (場所)

オ.その他

問16. 今後自転車の購入予定はありますか?

ア.ある イ.ない

問17. 今回の (財)日本自転車普及協会の出展内容について
ご意見をお聞かせ下さい

a)ハンドサイクル・多用途自転車試乗

ア.おもしろかった

イ.おもしろくなかった

ウ.その他 ()

b)モバイルウォーターについて

ア.初めて知った

イ.興味がある

ウ.その他 ()

c)乗って楽しい自転車試乗会

ア.楽しかった

イ.楽しめなかった

ウ.その他 ()

d)エコ電について

ア.楽しかった

イ.楽しめなかった

ウ.その他 ()

問13. 普段自転車で走る所は

ア.歩道を走行しています

イ.車道を走行するようにしています

問14. 自転車は車輪の仲間、原則車道通行について

ご存じでしたか?

ア.知っていた

イ.今日初めて知った

ウ.知らない

問18. 今回のカーフリーデー (財)日本自転車普及協会ブースについてご意見をご感想をお聞かせ下さい

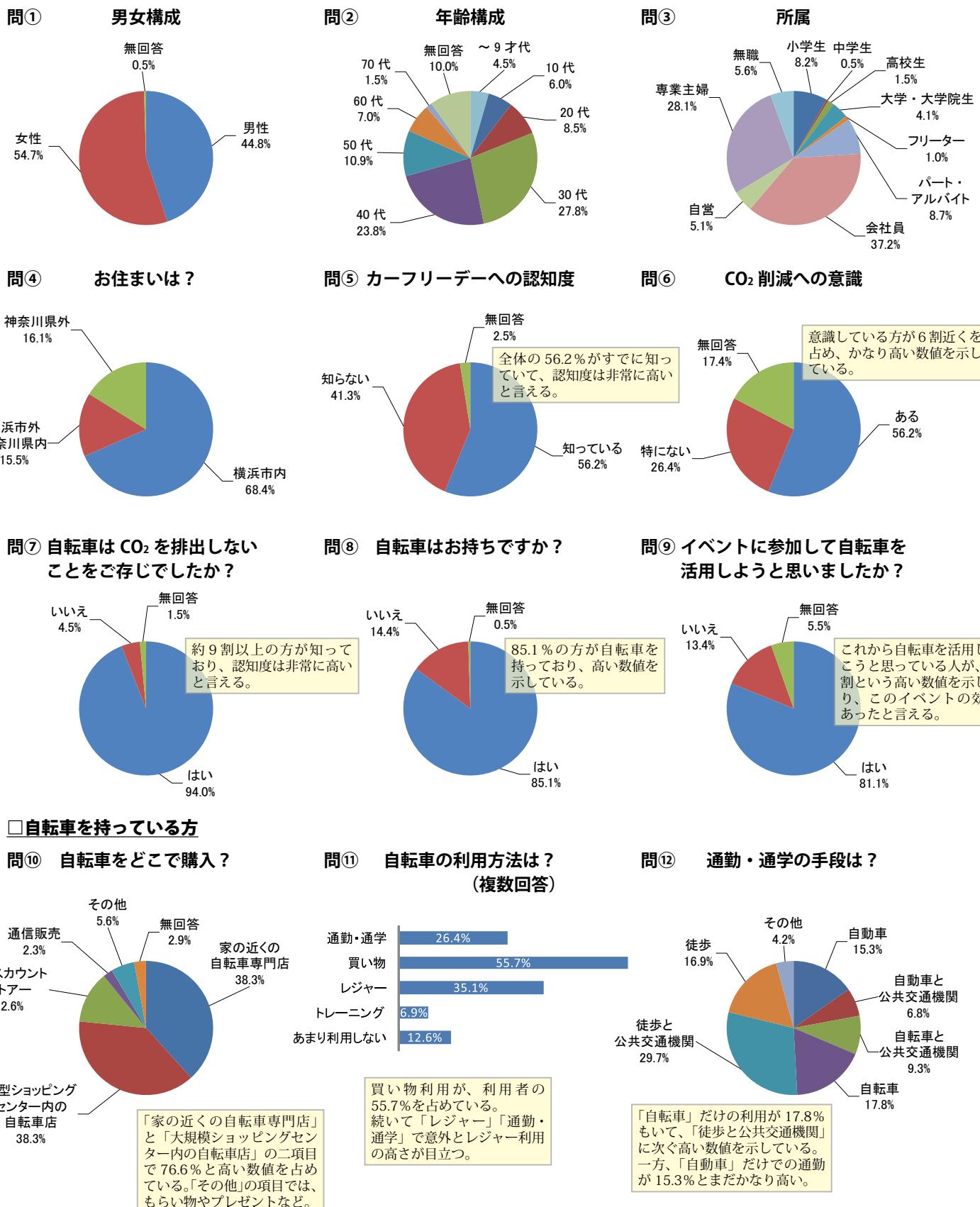
本日はご協力ありがとうございました。



■回収枚数：201枚

【デモグラフィック特性】

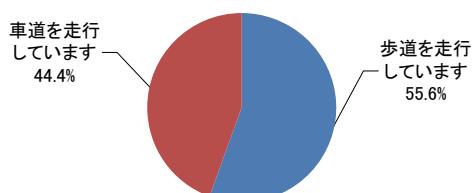
- ・女性が男性と比べて多く、54.7%を占めている。
- ・年齢としては、30代～40代が過半数を占めている。
- ・女性の年齢では、30代～40代が6割強を占め、高い数値を示している。
- ・会社員が37.2%と一番多く、専業主婦も28.1%と高い数値を示している。家族連れが多く見受けられた。
- ・横浜市在住が68.4%と多くを占め、神奈川県内では83.9%を占めている。



横浜アンケート集計・分析

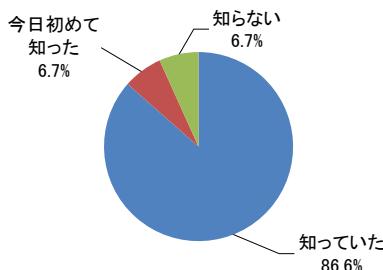
□自転車を持っている方

問⑬ 普段自転車で走る所は？



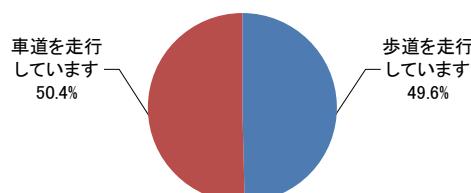
自転車走行は、「歩道」を走る方が「車道」よりも多い。

問⑭ 自転車は車輪の仲間だと



9割近くの方が車輪の仲間だと知っていますが、ほとんど認知している。

《車輪の仲間だと知っている人のうち》

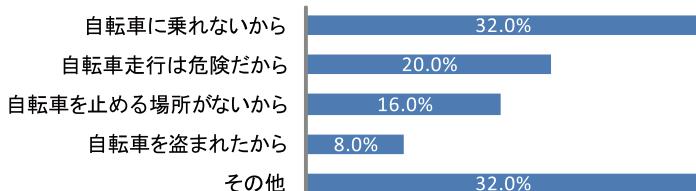


車輪の仲間だと知っている人のうち、約5割が歩道を走っているという回答を寄せている。このことは知っていても車道を走ることが危険であると認識している人がいかに多いかを示していると思われる。

□自転車を持っていない方

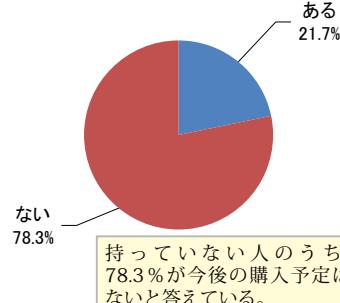
問⑮ 何故自転車をお持ちでないのか？

(複数回答)



「自転車に乗れないから」が多い。「その他」の項目では、「必要性を感じない」「資金がない」などのコメント。

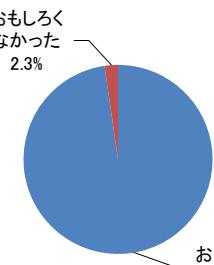
問⑯ 今後自転車の購入予定は？



持っていない人のうち、78.3%が今後の購入予定はないと言っている。

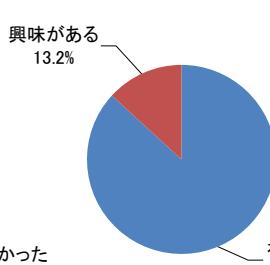
問⑰ 今回の（財）日本自転車普及協会の出展内容についてのご意見

a) ハンドサイクル・多用途自転車試乗について



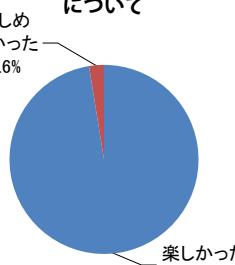
ほとんどが「おもしろかった」と答えている。ただ回答者の過半数が、「その他・無回答」であり、参加出来なかつたか、しなかつたと思われる。

b) モバイルウォーターについて



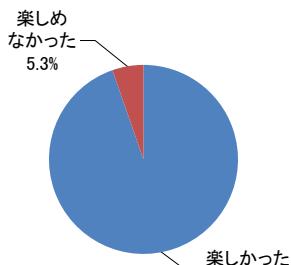
「初めて知った」は86.8%を占めている。一方「興味がある」が13.2%と高い関心を示している。

c) 乗って楽しい自転車試乗会について



ほとんどが「楽しめた」と答えている。ただ回答者の過半数が、「その他・無回答」であり、参加出来なかつたか、しなかつたと思われる。

d) エコ電について



ほとんどが「楽しめた」と答えている。ただ回答者の過半数が、「その他・無回答」であり、参加出来なかつたか、しなかつたと思われる。

【コメント集】

問⑤ 今回カーフリーデーに参加されてこのイベントの印象をお聞かせ下さい。

- 44人（回答者のうち21.9%）の方に印象のコメントを書いていただきました。
- 好印象がほとんどで、環境を考えるきっかけ作りになった意見が多く見られるが、もっと多くの方に来て貰うようにして欲しいとの要望もある。

(抜粋)

- 家族が楽しめるイベント。
- 初めて見るタイプがあった。
- ちょっと難しい感じがした。
- 良いと思う。前より大きくなってきたのでもっと広げて欲しい。
- 車がないので後ろを気にせず歩けるのがよい。
- 市民主体の楽しいイベントだと思います。
- 盛り上がりに欠けます。やるならやるで全力でパレードをするべきです。パレードが3団体では、この大通りに対して少なすぎます。
- 4才の娘と来ました。子どもと自転車体験でき楽しくて、また来年来たい。パレードに参加するつもりで妖精のドレスを着させてきました。
- いろいろためになったコーナーがありました。
- CO₂削減のPRが出来て良い。

- 11 思ったより大きい規模のイベントでした。
- 12 楽しい自転車がいっぱいあって楽しいです。
- 13 おもしろ自転車で子どもが興味を持った。
- 14 名前だけネットで見て知っていたが、楽しいイベントで子どもも大喜びでした。
- 15 音が静かで楽しかった。
- 16 啓蒙活動に良いと思います。
- 17 楽しい。子どもが楽しめる。
- 18 CO₂削減へ貢献出来そう。
- 19 初めて来たがいろいろなことが出来て楽しいです。
- 20 子どもに環境のことを考えさせる良い機会だと思います。



問⑥ CO₂削減について普段から意識されていることは

- ・「ある」と答えた113人のうち99人（9割弱）の方にコメントを書いていただき、非常に大きな意識の高さが伺える。
- ・日頃から意識されている人の中で、節電・自動車・ゴミ分別・エコパック等が多数見受けられる。

〈水道・光熱及び車に関するコメント〉(抜粋)

- 1 電気をこまめに消す。
- 2 エアコンはあまりかけない。
- 3 ソーラー発電を行って電気を作っている。
- 4 シャワーの利用。
- 5 お風呂はまとめてはいる。
- 6 車にあまり乗らないで歩くようにしている。クーラーとかをあまり使わないようにしている。
- 7 急発進、加速などの車の運転。

- 8 自動車の安全運転。
- 9 車の駐車場でとまっているときの排気ガス。
- 10 省燃費走行を心がける。
- 11 なるべく車に乘らない。
- 12 アイドリングをしない。
- 13 自家用車をやめました。
- 14 エコドライブ。

〈自転車活用及び公共交通機関利用に関するコメント〉(抜粋)

- 1 自転車に乗る。
- 2 徒歩、自転車に乗る。ゴミ分別。節電。
- 3 自転車や電車・バスを使う。
- 4 自転車で通勤。

- 5 普段歩きか自転車を使うようしている。
- 6 できるなら自転車で出かける。
- 7 車より自転車を利用する。
- 8 公共交通を積極的に使う。

〈その他のコメント〉(抜粋)

- 1 CO₂削減はムダを省くこと。
- 2 ゴミ分別。
- 3 植物を。
- 4 レジ袋をもらわない。
- 5 エコパック。

問⑮ (財)日本自転車普及協会ブースについてのご意見

- ・37人（回答者のうち18.4%）の方にご意見をいただいた。
- ・来場者は大いに関心を抱き、充分にイベント効果があったと考えられる。

(抜粋)

- 1 自転車が車道を走ることに驚いた。
- 2 自転車をこいだエネルギーのSLに乗って楽しかった。
- 3 定期的にイベントを続けていただきたい。
- 4 学校からの案内だけだったので、もっと大々的に知らせた方が良いと思います。
- 5 様々な自転車があり、興味を持って見学することが出来ました。
- 6 こういう普及活動を積極的に行ってほしいと思います。
- 7 自転車の普及は地球温暖化に対して、非常に重要なことだと思う。是非これからも活動を続けて欲しい。
- 8 参加型で楽しかったです。
- 9 若くてきれいな女性の担当者の人たちは感じが良かったです。
- 10 良いことだと思います。各地で行ってほしい。
- 11 CO₂を排出しないことは、人間にとっても地球にとっても大切なことなので努力していくべきですね。地球温暖化を止めたいです。

- 12 カーフリーデーを知って良かった。
- 13 ハンドサイクルのところでスタッフのおじさま達が子どもに親切で親しくてうれしかった。
- 14 いろんな自転車があっておもしろかった。
- 15 自転車をもっと安くして欲しい。
- 16 自転車走行のマナーを考えて欲しい。
- 17 自宅が山の上にあり、坂道はきついが、こういうおもしろい自転車に乗ることが出来ると子どもたちも自分の自転車への愛着をもって使用できるので良い体験でした。
- 18 子どもと楽しめるイベントだと思いました。
- 19 自転車普及に活躍して下さい。
- 20 自転車を広く見るため、また他の視点から見られて良かった。

アンケート全体を通して

- さいたま会場及び横浜会場ともに200名を超える方々に答えて頂き、意識の高さが伺えた。
- 特徴として、横浜会場の方がさいたま会場に比べ専業主婦の比率が高く、子どもを連れた家族が多く見受けられた。
- 「カーフリーデー」への認知は両会場とも比較的高く、チラシ等を見ての来場者が多かったと思われる一方で、事前PRが足りなかったとの意見もあり、来場者総数をもっと伸ばす主催者努力が求められる。
- CO₂削減への意識は強く、環境問題が人々の関心事となっていることを示している。
- 本イベントに参加して、今後自転車を80%~90%の人が活用したいと回答していることは、出展趣旨が大いに理解されたと言える。
- 通勤での自動車利用は依然多く、今後も環境へのアピールをこのような機会を通じて呼びかけていく必要がある。
- 普段の自転車走行では、9割近くの方が車輌の仲間であると認識しているにもかかわらず、その約5割が歩道を走っていると答えている。この理由として車道を走ることに危険を感じていると考えられ、この結果は、今後安全な自転車走行における道路整備が求められているあらわれである。
- さいたま会場では、展示が主流の他ブースが多く、滞留時間が短かったのに比べ、ステージでのトーク&ライブや(財)日本自転車普及協会ブース内の体験型アトラクションなど、集客面・滞留時間の面で大いに効果があったと言える。その上で「自転車利用啓発パネル」にも、非常に高い約9割の方が「ためになった」と答え、訴求効果が非常にあったと考えられる。
- 横浜会場では、(財)日本自転車普及協会の体験型アトラクションが主流だったため、子ども連れの来場者が多く、さいたま会場に比べ楽しみながら学ぶ要素が強かった。

カーフリーデーに出展して

今回、近距離交通手段としての自転車の優位性を積極的にPRするとともに、乗用時にCO₂を排出しない環境にやさしい移動手段としての自転車の活用を促進するため、さいたまと横浜の2つのカーフリーデーに出展しましたが、一般の方のカーフリーデーそのものについての認知は比較的高く、環境問題への関心も併せて持っているということが感じられました。

本会では、特に環境への負荷が少ない自転車の活用推進を図るなかで、カーフリーデーへ来場された一般の方へ今後一層の自転車を利用していくためステージイベントやブースにおける啓発パネルの展示などを展開しましたが、意識向上への働き掛けについて、一定の成果はあげられたものと考えております。

これから、さらに多くの方々が環境に対する取り組みをされていく中で、とりわけCO₂削減に効果の高い自転車の活用を強く訴えていくために、PR活動もより一層幅広く行っていくこととし、カーフリーデーイベントに積極的に参画していくよう業務を推進していきたいと考えております。





財団法人 日本自転車普及協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3

<http://www.bpaj.or.jp/>